

SAITAMA CPA NEWS

Vol.21
2026.01.01

日本公認会計士協会埼玉会



菊花展（さいたま市）

CONTENTS

会長挨拶
日本公認会計士協会会长挨拶
財務省関東財務局長挨拶
埼玉県知事挨拶
副会長挨拶

専門委員会活動説明
謹賀新年広告
2025年度 活動報告
埼玉会行事
埼玉会10周年記念イベントの告知

● 信頼の力を未来へ
jicpa
◆ 日本公認会計士協会 埼玉会

会長挨拶



工藤道弘
埼玉会会长

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和8年の干支は午です。この「午」は、勢いよく駆ける馬を象徴し、飛躍や前進の意味が込められています。午年の勢いにあやかり、埼玉会としての飛躍、そして、会員及び準会員の皆様のご活躍とさらなる飛躍をご祈念申し上げます。

埼玉会は、2016年4月1日に東京会から15番目の地域会として独立いたしました。そして、今年の4月1日をもって独立してから満10年を迎えることとなります。設立から今日に至るまでの、初代会長の小山彰先生、2代目会長の西川正純先生、そして、3代目会長の土屋文実男先生のご尽力に深く敬意を表したいと思います。また、この10年間における会員及び準会員の皆様の会務に対するご協力に感謝申し上げます。

埼玉会は、その活動の柱として地域貢献を掲げております。この活動を実施するうえで、財務省関東財務局をはじめとする国の機関、地方公共団体、地元金融機関、地元経済団体、教育機関及び埼玉友好士業協議会等の多方面の方々に大変お世話になっております。このような皆様に10年間の感謝の意を表するとともに、会員及び準会員の皆様とは次の10年に向けての結束を強固なものとするために、10周年記念イベントを10月に開催する予定です。詳細はこれから詰めてまいりますが、ご期待いただければと存じます。

次に、昨年の埼玉会の活動内容についてご報告申し上げます。

昨年3月に、埼玉りそな銀行と地域経済の活性化に貢献することを目的とした包括連携協定を締結しました。このことは新聞各紙にも取り上げられたことから、かなり大きな反響を呼びました。当該連携協定は、地域の中小企業に対する貢献に留まらず、会員の業務に対しても大きなメリットとなるものです。そうであるからこそ、連携協定に基づく制度内容を永続性あるものとするために、しっかりと取り組んでまいります。

会計教育活動では、小学4年生から6年生を対象に「ハロー！会計 サマースクール」を毎年7月に実施しています。このサマースクールは公開型で、埼玉会の研修室を会場として実施しているのですが、昨年は久しぶりに訪問型の「ハロー！会計」も実施いたしました。訪問型はコロナ禍以来中止していましたが、埼玉大学教育学部附属小学校のご協力により6年生を対象に実施することができました。小学生に記入していただいたアンケートによればとても好評であったことから、今後もこの活動を継続していきたいと思います。

委員会活動も活発化しており、専門委員会や特別委員会へ新しい委員がどんどん加入している状況です。中には総勢30名を超える大所帯の専門委員会も出てきております。このような委員会活動へ参加することでたくさんの仲間を作ることができます。仲間を作ることは、自身の業務の幅を広げるきっかけにもなりますので、会員及び準会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

最後に、今年も会員及び準会員の皆様のために精一杯努めてまいる所存です。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

信頼を創り、 次世代が輝く社会へ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素より当協会の活動にご理解、ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

私は2025年7月に日本公認会計士協会会長に就任し、「信頼を創り、次世代が輝く社会へ」というビジョンを掲げました。公認会計士が社会の信頼の基盤となり、その上に次世代が希望を持って活躍できる社会を築きたいという強い思いを込めています。

この方針の下、協会では五つの重点目標を設定し、各分野で施策を進めてまいりました。2026年はより実効性のある取組を推進し、公認会計士の社会的価値をさらに高めてまいります。

1. 監査の信頼性・魅力の向上

監査は公認会計士業務の根幹であり、資本市場の信頼性確保に不可欠です。監査が企業価値や社会の信頼向上に貢献していると実感できるよう、制度改革や業務効率化を含めた環境づくりを進めてまいります。

協会は会社法と金融商品取引法に関する開示書類の一本化を提言しており、今年はその実現

に向けてさらに一步進める年にしたいと考えています。サステナビリティ情報の開示義務化に対応し、有価証券報告書の作成・開示負担の軽減、監査・保証品質の向上、株主・投資家による十分な検討期間の確保の3点を実現するため、株主総会の後倒しと開示書類の一本化の実現に向けた意見発信や有識者会議への参画など、各方面から働きかけを行ってまいります。

また、中小監査事務所の経営基盤強化と監査品質の向上を推進するため、IT・AI活用や情報開示に係る支援を通じて、資本市場から信頼される“見える中小監査事務所”的実現を目指してまいります。

2. 社会課題解決への貢献

サステナビリティ情報の開示と保証の制度化への対応が求められる中、公認会計士がサステナビリティ保証の中核的役割を担えるよう、制度設計や能力開発、品質確保に取り組んでいます。倫理規則や実務指針等の改正・整備、能力開発に係る専門プログラムの開発などを進め、業界全体の底上げを図ってまいります。また、税務やコンサルティングなど多様な分野で社会課題解決に貢献する公認会計士の活動も力強く支援してまいります。

3. 優秀かつ多様な人材の確保と育成

公認会計士の活躍の場の拡大やDX・グローバル化の進展に対応し、社会から信頼され続けるためには、多様な人材の確保と継続的な能力向上が不可欠です。協会は能力開発の過程を一体的・包括的に検討し、報告書の公表等を通じて方向性を示してまいりました。

今後は検討を実行に移していく段階として、継続的に施策を推進してまいります。

4. 社会における会計リテラシーの向上のための取組

会計リテラシーは論理的判断や経済的自立を支える重要な力であり、DXの進展とともにその重要性が増しています。協会は教育機関や行政など多様な関係者と連携し、特に若年層に向けた会計リテラシーの普及と定着に取り組んでいます。中学校・高校での授業支援や、総合的な学習（探究）での活用にも積極的に取り組んでまいります。

5. 持続可能な基盤の確立

協会は持続可能な財政基盤の構築とガバナンス体制の見直しを進め、効果的かつ効率的な会務運営を目指しています。会費の使途明確化や財政負担の適正化、役員体制の見直し、危機管理体制強化、ステークホルダーとの対話拡充などを通じて、迅速に変化へ対応できる組織づくりと社会的価値の向上に取り組んでまいります。

協会は社会の期待に応えるため、「検討」だけでなく着実な「実行」を重視し、限られた任期の中で成果を出すべく密度の高い取組を進めます。若い世代が夢と誇りを持てる「魅力ある業界」を目指して、執行部一丸となって会務運営に全力を尽くします。2026年が、公認会計士の信頼と価値がさらに高まり、次世代が輝く社会への一歩となることを願い、年頭の所感といたします。



南 成人
日本公認会計士協会
会長

新年のご挨拶



後藤 健二
財務省関東財務局長

新年あけましておめでとうございます。

日本公認会計士協会埼玉会及び会員の皆様方におかれましては、日頃より私ども関東財務局の業務運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

工藤会長をはじめとする執行部の皆様方のご尽力のもと、監査及び会計の専門家として、財務に関する情報の信頼性確保という経済活動の基盤を支える大変重要な役割を果たされていることに、改めて深く敬意を表します。

さて、この1年のディスクロージャー制度の状況を見ますと、ご存じのように、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、開示制度のあり方に関する議論が引き続き活発に進められています。

近年の開示制度において重要なテーマである企業のサステナビリティ開示の充実やコーポレートガバナンス改革につきまして、様々な取組みが進められているところであります。貴会及び会員の皆様方の果たすべき社会的役割や取組・活動が益々重要となっております。

貴会の皆様方におかれましては、制度整備の議論や企業開示に関する施策を注視いただくとともに、今後、新たな制度が運用される場面においては、引き続き連携していただきますよう、よろしくお願ひいたします。

また、貴会の皆様方におかれましては、従来から社会貢献・会計教育活動の一環として、学校での会計講座の実施や、地域の課題解決のために地域の自治体や経済団体等と積極的に連携して地域に根差した活動をされておられると承知しております。私ども関東財務局におきましても、所掌する業務を通じて地域経済の一層の発展に貢献していくことを重要な使命としており、貴会における地域貢献活動を大変心強く感じているところです。

関東財務局といたしましても、特に貴会の活動とも関わりのある中小企業支援との関連では、管内の都県毎に、地域金融機関のほか、関係当局、支援機関、公認会計士をはじめとする専門家などが事業者支援のために緊密に連携しあえる態勢を構築するため、関係者間の連携強化を進めてまいりました。

現状では、人口減少・少子高齢化や人手不足・物価高騰などの環境変化に直面している地域の持続的な発展を実現するため、地域金融機関には、単なる資金繰り支援にとどまらず、多様なステークホルダーと連携しながら幅広い金融仲介機能を發揮して、地域経済に貢献する力、すなわち「地域金融力」の更なる発揮が求められています。例えば、経営改善支援、M&A・事業承継支援、地域に必要な事業・人材の呼込みなどに取り組んでいただいているところです。関東財務局としましても、M&A・事業承継支援をテーマとした地域金融機関向けの定期的な勉強会を開催するなど、地域金融機関による事業者支援の後押しを進めてきております。

引き続き、貴会や会員の皆様とも連携させて頂きながら、関東財務局としても地域金融機関による事業者支援の後押し等を通じた地域貢献に取り組んで参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

結びとなりますと、埼玉会の皆様方には、今後とも会計の専門家として厳正な監査の実施と地域経済の持続的な発展に向けての一層のご尽力をお願い申し上げますとともに、日本公認会計士協会埼玉会のさらなるご発展と会員の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

埼玉の未来を築く 更なる挑戦

明けましておめでとうございます。

日本公認会計士協会埼玉会の皆様には、健やかに令和8年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より、監査・会計の専門家として本県の健全な経済活動の維持・発展のため御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

初めに、昨年1月に八潮市で発生した道路陥没事故について、改めてお亡くなりになられた方の御冥福をお祈りするとともに、御家族、関係者の方々にお悔やみを申し上げます。

また、地域の皆様には、長期にわたり多大なる御不便、御迷惑をお掛けしており、心からお詫び申し上げるとともに、様々な御協力に感謝を申し上げます。早期の復旧を目指して工事を進めてまいります。

大規模下水道は更新や点検・調査の手法が確立していないなど、今回の事故は多くの教訓を残しました。

このような事故はいつでもどこでも起こり得るため、本事案で判明した様々な課題を国や全国に提言・発信するとともに、未然防止対策を国と共に推進してまいります。

さて、本県は「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの歴史的課題に直面しています。活力あふれる埼玉の未来を築くには、これらの課題に敢然と立ち向かい、時代の変化を捉えた中長期的な施策を実行していくことが必要です。

本県ではこれまで、先手先手の施策に取り組み、着実に成果につなげてきました。

昨年5月に、本県では66年ぶりとなる全国植樹祭を開催し、森林資源の循環利用を図る「活樹」の重要性を全国に発信しました。

7月には、さいたま新都心にイノベーション創出拠点「渋沢MIX」を開設し、様々な主体が集い結びつくハブとして、県内企業のイノベーションを生み出す場となっています。

さらに、企業の価格転嫁をきめ細かく支援する地域連携の取組は「埼玉モデル」として全国から高い評価を得ており、賃上げの正のスパイラルにつなげて、今年も本県が全国の持続的な経済構築に向けた取組をリードしていきます。

新しい年には「歴史的課題への挑戦」、そして「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組を更に前に進めていきます。

人口減少下でも強い経済を構築するには、労働生産性の向上が不可欠です。社会全体のDXの推進や渋沢MIXを中心としたイノベーション創出などの取組の加速化と併せ、県庁もデジタルを前提に、業務の生産性と県民サービスの向上を図ります。「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」により持続可能なまちづくりに取り組むほか、医療・福祉人材の確保、サーキュラーエコノミーの推進など将来を見据えた施策を進めています。

一方、激甚化・頻発化する自然災害などの危機に対しては、県土の強靭化や「埼玉版FEMA」など各分野での取組を深化させていきます。

さらに、今年は現行の「日本一暮らしやすい埼玉」5か年計画の総仕上げの年として、「あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会」の実現を確かなものにしていきます。ジェンダー主流化の視点に立って県政運営を進めるとともに、「こどもまんなか社会」の実現を目指した取組を更に充実させていきます。

今年11月には、全国健康福祉祭、「ねんりんピック」を本県で初めて開催します。人生100年時代を豊かに過ごせる社会づくりを進めるとともに、埼玉の自然や文化、食などの魅力を全国に広く発信していきます。

また、近年は本県のいちごや梨などが全国で高い評価を得ており、今年は県育成の最も新しいお米「えみほころ」の本格生産も始まります。是非、県のおいしい農産物を御賞味ください。

今年は「午（うま）」年です。埼玉県が未来に向けて力強く前進する年となるよう皆様と共に「ワンチーム埼玉」で取り組んでまいります。



大野元裕
埼玉県知事

副会長挨拶



副会長（総務）
佐久間仁志

あけましておめでとうございます。

総務委員会は、定期総会や新年賀詞交歓会を開催するとともに、役員会等の開催、規約・規則等の改正、本部や東京会との連携、会員及び準会員相互のコミュニケーションに関する諸施策の実施、事務局に係る事項の処理等を主な業務としており、その業務は多岐にわたっております。昨年は、10月に新会員のためのウェルカムガイダンスを開催しました。

今年は、埼玉会10周年記念イベントが開催されます。現在、プロジェクトチームを組成し、10月16日開催に向けて準備を行っております。

会員の皆様、10周年記念イベントの参加を心よりお待ちしております。

今年もよろしくお願いします。



副会長（経理）
村田 克也

新年あけましておめでとうございます。

埼玉会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

経理委員会としましては、日々の業務としては、予算の執行状況を把握することに努めています。昨年11月からは、次年度予算の策定及びその調整、それが終わりますと決算の取りまとめ、予算書の作成を残すのみとなります。特に新たなイベントや研修等が発生した場合には、細心の注意を払いたいと思います。

定期総会時にはしっかりと数字をお示しできるよう、執行部ともよく協議し、活動内容を漏れなく把握し、過不足のないよう適切に計上し取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長（厚生）
中澤 仁之

皆様、新年おめでとうございます。厚生担当の中澤です。

昨年も関係各位の皆様のご尽力のおかげで、充実した内容の数多くの厚生関係行事を開催することができました。7月の富山方面への一泊二日の親睦旅行、10月の太平洋クラブ江南コースでの親睦ゴルフ、11月の日本スリーデーマーチ（東松山）、12月の忘年懇親会（木曽路大宮店）等々です。また、7月に趣味の会である写真同好会が開催されています。

本年は1月に新青年部長である武田幹事のもとで青年部向け行事（懇親会を予定）、2月に女性会員向け行事（ランチ会を予定）、親睦旅行（行先は検討中）、親睦ゴルフ、ウォーキングイベント、忘年懇親会その他を開催予定です。

これらの行事を通じて皆様のさらなる親睦が図れるように、また楽しい行事となるように心掛けて取り組んで行きたいと思っています。

厚生関係の行事への埼玉会の皆様の積極的な参加をお待ち申し上げております。宜しくお願い申し上げます。



副会長（研修）
飯野 浩一

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、埼玉会の活動にご理解とご協力いただいていること、深く感謝申し上げます。

昨年も、委員会メンバーはじめ事務局や、講師をお引き受け頂いた先生方のご尽力のおかげで、質量ともに充実した研修カリキュラムを実施することができました。

新春研修会、各専門委員会主催研修会、熊谷市での巡回研修会、年末研修会、常時事務局で行っておりますDVD研修会等を実施致しました。

引き続き、埼玉会会員のスキルアップとCPD義務達成の利便性を図っていくことを主眼として、皆様のお役に立つよう企画実施してまいります。

年度末が近づいてまいりました。埼玉会会員のCPD義務達成100%に近づけるよう、よろしくお願ひ致します。また、研修委員会へのご意見ご要望ございましたら、私もしくは事務局へお申しつけ下さい。



副会長（業務）
大塚 健一

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
業務委員会では、公認会計士業務の一層の普及と社会的認知の向上を目的に、地方公共団体等への挨拶訪問を行い、また関係諸団体との会合を通じて幅広い情報交換を重ねてまいりました。さらに、中小企業に対する会員の業務活動を支援するため、外部関係団体との連携を図るとともに、埼玉友好土業協議会の活動に積極的に参加し、地域に根差した貢献を続けております。

具体的な取組としては、昨年9月に埼玉県知事、10月に関東信越国税不服審判所所長と所沢市長、11月に関東財務局長への表敬訪問を実施し、公認会計士業務の現状や課題について意見交換を行いました。また11月に埼玉友好土業協議会主催の「暮らしと事業のよろず相談会」が浦和コルソにて開催され、本会からも複数の会員が相談員として参加し、県民や事業者の皆さまに直接寄り添う機会となりました。

本年も引き続き、関係諸団体との協力関係を強め、中小企業支援や地域社会への貢献に努めてまいりますので、会員の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



副会長（調査研究）
新江 明

新年、あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

埼玉会は本年、設立10周年を迎えます。10周年記念イベントも企画しておりますので、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

調査研究委員会は、8つの専門委員会（公会計専門委員会、学校法人専門委員会、公益法人等専門委員会、社会福祉法人専門委員会、NPO法人専門委員会、税務専門委員会、中小企業支援対応専門委員会、医療法人専門委員会）を管轄しております。専門委員会では、新型コロナ感染拡大防止の観点から、一時控えておりました行政機関の皆様をお招きした意見交換会を本年度より復活しました。次年度以降も開催して参りたいと考えておりますので、是非とも皆様のご参加をお待ち申し上げます。

また昨年は、埼玉りそな銀行との包括連携協定を締結しました。中小企業等の経営課題解決に資する専門的な支援を通じて、地域経済の活性化に貢献して参りたいと思います。



副会長（広報）
長岡 千晶

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、埼玉会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

広報委員会では会報誌「SAITAMA CPA NEWS」を年に2回発行しています。埼玉会が発足10周年を迎えたので、「SAITAMA CPA NEWS」も2016年4月15日発行の第1号から21号目を数えることが出来ました。これもひとえに、原稿をお寄せ下さった会員、そして各号で会議を重ね編集作業をしてくれた特別委員会の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

そして、この間に、主媒体は紙から電子へと変貌しました。発刊当時には想像だにし得なかった時代の要請であり、おかげで埼玉会のホームページで全号の閲覧が可能となっています。

今後もホームページへ見にきていただける様な、埼玉会の魅力を発信する誌面を作成していきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



専門委員会活動説明

公会計 専門委員会

委員長 柴田 英樹

公会計専門委員会は現在24名で活動しております。公会計専門委員会は委員が公会計及び公監査に関する専門性を高めることを支援し、かつ会員間の情報交換を推進することを目的として活動しております。令和7年度の活動としましては、7月23日に公会計専門委員会の委員会をオンラインにて開催し、10月18日に公会計専門委員会主催研修会として佐久間副会長と渡邊靖雄公会計専門委員会副会長に教壇に立っていただき「包括外部監査従事者養成講座」を実施しました。この「包括外部監査従事者養成講座」は2021年より継続して開催している研修会になりますが、今年度初めて土曜日に実施したのですが、例年より多数の方に参加して頂ける結果が得られました。

公会計専門委員会では新規のご入会を歓迎しております。公会計・公監査にご興味がある方のご参加を心よりお待ち申し上げております。

委員長 井上 正之

学校法人 専門委員会

学校法人専門委員会は、学校法人の会計監査や税務に関与される会員・準会員の皆様をはじめ、興味がある、知見を深めたいなど、様々な意欲をお持ちの皆様にご参加いただいております。昨年は10月に専門委員会を開催し、意見交換等をさせていただきました。また、本年2月には、例年と同様に、埼玉県総務部学事課の担当者をはじめとする外部の方をお招きして研修会を開催する予定ですので、奮ってご参加いただければ幸いです。

学校法人専門委員会では、会員・準会員の皆様に学校法人監査の知見・経験をさらに深めていただけるような場を提供できればと考えております。特に改正私立学校法の施行による影響が令和8年3月期決算から本格化することが予想されますので、共に学んでいただける方が少しでも増えていただけると嬉しく思います。

委員長 中村友理香

公益法人等 専門委員会

公益法人等専門委員会は、公益法人への関与の有無にかかわらず、知見を深めたいという会員が参加して活動しています。

例年、当専門委員会では、初回の委員会で年度計画を策定し、研修内容を企画の上、実施しています。会員相互の質疑応答も行っています。

令和7年度は、令和7年4月1日に施行された公益法人認定法及び公益法人会計基準の改正に合わせ、委員会での質疑応答に加え、12月には協会本部非営利法人委員会公益法人専門委員会専門委員の有田一貴先生をお招きし、公益法人会計基準の改正をベースに認定法やガイドラインの改正、委員から寄せられた質問についても講義いただきました。

委員会の開催はリモートで、研修はリモートと会場来訪との併用型ライブ研修と、参加者の利便性を高め、会員の皆様が公益法人の会計・監査・税務に触れる機会を少しでも増やしたいと企画しています。来年度はこんな内容の研修を受けてみたいというご希望をお持ちの先生がいらっしゃいましたら、是非、私もしくは事務局までご意見をお寄せください。

経過措置期間が3年間おかれているとはいえ、令和10年4月1日以降開始事業年度から公益法人は改正後の令和6年会計基準を適用しなくてはなりません。

公益法人の会計・監査・税務等に少しでも興味を持たれている会員の皆様、強制的に何かしなければいけないという課題もありませんので、お気軽にご参加ください。

お待ちしております。

社会福祉
法人
専門委員会



委員長 大野 夏美

社会福祉法人委員会においては、様々な行政の福祉監査課等の方々と、ざくばらんな交流会の開催と、県福祉監査課から講師をお招きしての研修会を開催いたしております。昨今の経済情勢における社会福祉法人の運営の厳しさが増しておりますが、新しい気付きや発見があるようなお話を心掛け、元気に明るく進んで参りたいと思います。

正直なところ、学校法人のように監査の根拠法が変わる訳でもなく、公益法人のように新しい会計基準が適用される訳でもございません。監査範囲の拡大については、執筆時点において、何ら出ておりませんし、会計基準の変更も予定されておりません。それでも、これから日本において、社会福祉法人は無くてはならない必須の社会インフラであり、上手に経営をしてゆくことで豊かで希望ある社会の一躍を担う法人だと考えております。今後とも、皆様のお役に立てる委員会運営を行って参ります。

NPO法人
専門委員会



委員長 深谷 豊

NPO法人委員会では、NPO支援に関して埼玉県との情報交換やNPO法人に関する研修を毎年実施しております。恒例として毎年1回は埼玉県共助社会づくり課にお願いして、現状における埼玉県のNPO支援の取組状況等について出前講座を実施してもらうとともに、同時にNPOに詳しい専門家によるその時その時のトピックなテーマについて研修を実施しています。2025年10月にも2部制にして1部では埼玉県によるNPO支援の取組状況について、2部ではNPO法人委員会のメンバー3名による、NPO法人会計初心者向けの基礎講座研修事例をご紹介することを実施しました。初めてNPO法人会計の講師依頼を受けたときなどにはお役に立てるものと考えております。

今後NPO法人を顧問したい先生方や既に顧問としてお持ちの先生方で、さらに深くNPO法人に関わりたい、NPO法人会計の知識を深めたい、あるいは、NPOに関してプロボノ活動をしたいという先生方には、是非ともNPO法人委員会のメンバーになっていただきたいと思います。そして、行政や営利企業にはできない社会課題解決を担っているNPO法人を、情報公開を通じて、一緒に支援していきたいと考えています。奮って皆様のご参加をお待ちしております。

税務
専門委員会



委員長 森山 謙一

税務委員会では、研修会の企画や実施を中心活動しており、合わせて租税調査会等の税務に関する会議への参加や、関係機関への表敬訪問などを通じて情報収集や意見交換を行っております。

当年度におきましては、8月27日に関東信越国税不服審判所の所長様及び審判官の方を講師にお迎えし、恒例となっております研修会を開催させて頂きました。9月17日には、関東信越国税局の税理士監理官の方をお迎えしましての綱紀観察関連研修会を、同月29日には関東信越国税局研修会を開催させて頂くことができました。どちらの研修会も大変ありがとうございましたことに関係機関の皆様にご協力を頂き毎年恒例の研修会として開催させて頂いております。今後も回を重ねさせて頂けるように尽力してまいります。

また、7月26日には中小企業支援対応専門委員会、青年部との合同で独立開業支援勉強会を開催させて頂きました。多くの若手会員の方にご参加を頂き、大変有意義な勉強会となりました。今後も若手会員の方々にも気軽にご参加を頂けるような機会をご提供できるように他の委員会や青年部とも連携して企画してまいります。

来年度以降の活動として、研修会についてはCPDの必修である税務研修2単位を確保する機会を会員の皆様にご提供できるように引き続き実施をしてまいります。

委員長 青山 裕之

中小企業
支援対応
専門委員会



中小企業支援対応専門委員会は「公認会計士による中小企業支援のプレゼンスの向上」を目的として、中小企業支援にあたる委員の交流促進、情報交換、研修の企画・運営等に取り組んでいます。

定期的に開催される委員会では、毎回、メンバーの近況や課題の共有を恒例としており、経験豊富な個性あふれるメンバーの話から共感・刺激・課題解決の糧を得ることのできる、とても有意義な時間です。現時点の委員の数も35名を超え、参加する委員も徐々に増えており、更なる盛り上がりが期待されます。

中小企業支援対応専門委員会の昨年の取組みの特筆すべき事項として、下記の2点があります。

① 埼玉りそな銀行との包括連携協定の締結と具体的な事業の設計

埼玉県内の中小企業等の様々な経営課題の解決に資する専門的な支援による地域活性化を目的として、2025年3月に埼玉りそな銀行との包括連携協定を締結しました。そして、当該協定に基づき、埼玉りそな銀行からの推薦依頼を受けて、財務調査や経営計画の策定等の業務に関する埼玉会の会員の業務推薦を行うための枠組みを整備しました。

② 金融機関連携PTの立ち上げ

中小企業支援にかかる金融機関との連携事業を推進していくため、会員のスキルアップ・扱い手の育成・業務品質の確保等を目的とした勉強会や研修の企画運営等に取組むためのPTを立ち上げました。今後のPTの企画による勉強会や研修等にご期待ください。これからも引き続き委員会活動の充実を図って参りますので、ぜひ多くの会員の皆様にご参加頂けますと幸いです。今後ともよろしくお願ひします。

委員長 岩波 一泰

医療法人
専門委員会



医療法人委員会では、年に数回会議を開催し、医療法人に関する会計・税務・監査、病院等の経営状況等の変化等について情報交換を行っております。委員の中には、既に医療法人の監査業務に従事している委員もいれば、会計指導、税務業務も含め医療法人に関する業務に現在従事していない委員もあり、委員の医療法人に関する従事状況は様々です。また、令和7年度においては、本部の非営利法人委員会医療法人専門委員会専門委員による医療法人制度の概要と医療法人監査に関する研修会を開催させて頂きました。

公的病院に資金の貸付を行っている関東財務局理財部融資課の方々と昨今の病院等を取り巻く状況等について意見交換を実施しました。

医療法人を取り巻く状況に関しては、平成29年4月2日以降開始する事業年度からは一定規模以上の医療法人に公認会計士監査が導入され、それに先立ち平成28年に「医療法人会計基準」（平成28年厚生労働省令第95号）が制定されました。また、令和5年8月以降に決算期を迎える医療法人から毎年、会計年度終了後原則として3ヶ月以内に病院・診療所毎の経営情報（損益情報、職種別給与総額及びその人数に関する情報）を都道府県に報告しなければなりません。このような状況に対し、監査、経営指導等を行う公認会計士への期待が高まっています。

最後に、医療法人の監査に既に従事している会員、従事を希望される会員、医療法人の業務に興味のある会員の方がいらっしゃいましたら、是非委員会の活動に参加下さい。会員皆様の参加をお待ち申し上げております。



謹賀新年



あづさ監査法人

有限責任 あづさ監査法人 北関東事務所

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町1丁目10番地17

シーノ大宮サウスウイング14階

TEL 048-650-5390

FAX 048-650-5381

公認会計士協同組合

理事長 青木 俊雄

〒102-0074

千代田区九段南4-3-13

麹町秀永ビル3階

TEL 03-3515-8960

FAX 03-5226-3505

E-mail info@cpacos.or.jp

Deloitte.トーマツ。

デロイトトーマツ

有限責任監査法人トーマツ さいたま事務所

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町1丁目9番4号

エクセレント大宮ビル

TEL 048-641-7220

FAX 048-641-7256

株式会社 日本会計士学館

代表取締役社長 深代 勝美

〒102-0074

千代田区九段南4-3-13

麹町秀永ビル3階

TEL 03-3515-8950

フリーダイヤル 0120-393-293

飯野 浩一

〒349-0121

蓮田市関山1丁目1番17号

TEL 048-769-5501

岡庭 武利

〒341-0035

三郷市鷹野1-340

TEL 048-956-1715

FAX 048-955-4228

大塚 健一

〒354-0024

富士見市鶴瀬東2-7-23

小笠原 薫子

〒340-0052

草加市金明町446-8

TEL 048-944-1061

URL <https://ogasawara-accounting.com/>



工 藤 道 弘

〒330-0844
さいたま市大宮区下町3-7-1-F804号
TEL 048-648-9598
E-mail kudo.cpa@nifty.com

熊 木 雄太郎

〒335-0016
戸田市下前1-13-15
TEL 048-443-3301

小 山 彰

〒333-0848
川口市芝下二丁目3番11号
TEL 048-266-2884
FAX 048-267-3095

佐久間 仁 志

〒350-1122
川越市脇田町15-15 古賀ビル301号
TEL 049-228-3336
FAX 049-228-3337

柴 田 英 樹

〒336-0021
さいたま市南区別所7-6-8
ライブタワー武蔵浦和内
TEL 048-816-3990
E-mail shiba-h@topaz.plala.or.jp

竹部 直一郎

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3丁目10番地4
八千代ビル5階
URL <https://corporatedevelopment.co.jp>

中 澤 仁 之

〒330-0801
さいたま市大宮区土手町2丁目99番地
アーバンレックス102
TEL 048-871-6941
FAX 048-871-6944

能 見 孟 俊

〒360-0037
熊谷市筑波1丁目195
TEL 048-524-7272
FAX 048-524-7273
E-mail nohmi@mvh.biglobe.ne.jp

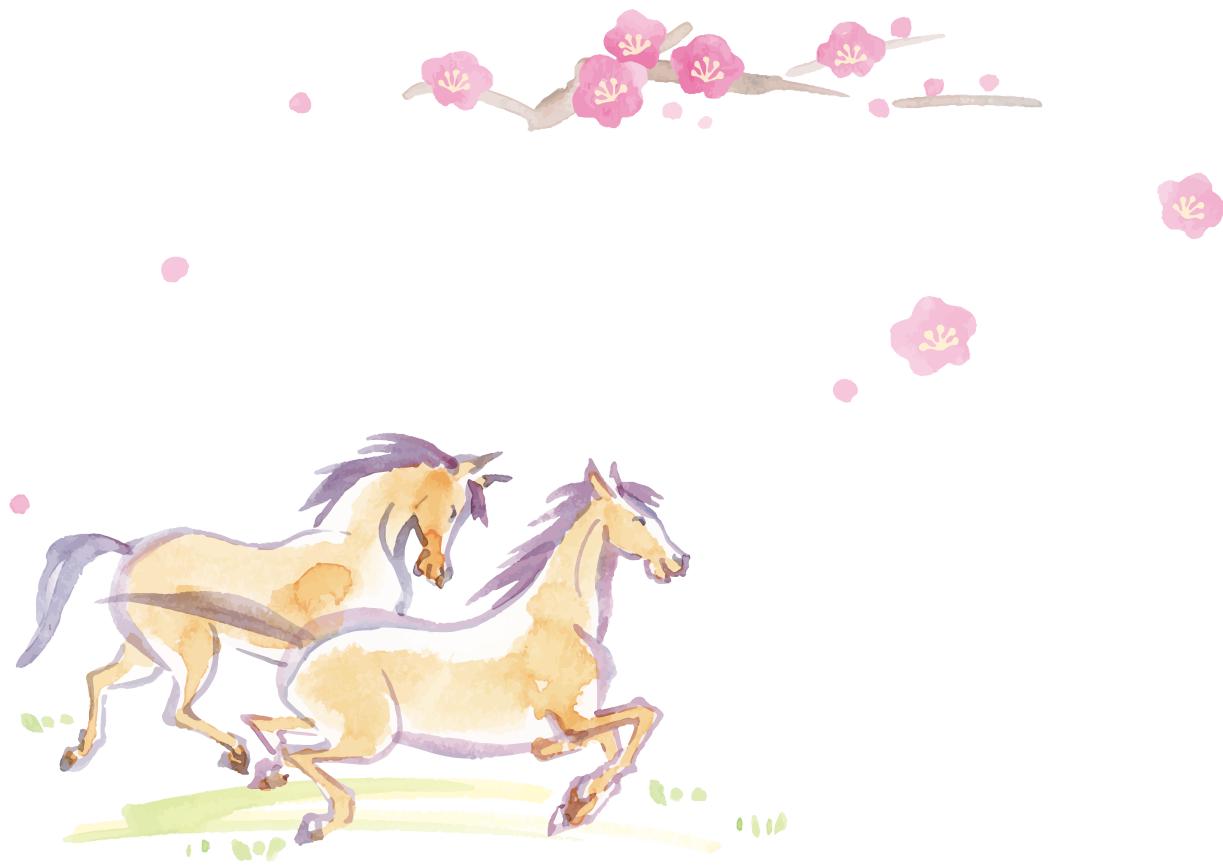


宮 原 敏 夫

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂2丁目2番3号 8階
TEL 048-834-1155 (代)
FAX 048-834-1156

吉 島 一 良

〒357-0036
飯能市南町2番2号
TEL 042-974-4166





2025 年度

活動報告（7月～12月）

- 7月1日（火）
埼玉県中小企業活性化協議会「全体会議」出席
- 7月1日（火）、12月2日（火）
SAITAMA CPA NEWS 編集会議
- 7月2日（水）
埼玉友好士業協議会2025年度「第1回幹事会」兼「定例会」出席
- 7月3日（木）、8月6日（水）、9月3日（水）、
10月1日（水）、11月5日（水）、12月3日（水）
総務委員会
- 7月7日（月）
関東財務局来会（前局長退任挨拶）
- 7月8日（火）、7月16日（水）、8月13日（水）、
8月20日（水）、10月21日（火）、11月25日（火）
DVD研修会
- 7月9日（水）、8月8日（金）、9月5日（金）、
10月7日（火）、11月7日（金）、12月9日（火）
常任幹事会
- 7月17日（木）
関東信越税理士会埼玉県支部連合会「第74回県連定期総会祝賀」出席
- 7月22日（火）、11月4日（火）
厚生委員会
- 7月22日（火）
関東財務局来会（新局長就任挨拶）
- 7月24日（木）、9月24日（水）、11月26日（水）
役員会
- 7月29日（火）
関東信越国税不服審判所来会（新所長就任挨拶）
- 7月30日（水）
埼玉りそな銀行主催「中小企業経営改善支援に関する
合同カンファレンス」出席
- 8月5日（火）、9月2日（火）
研修委員会
- 8月7日（木）、10月1日（水）、11月20日（木）
調査研究委員会
- 8月7日（木）
関東財務局来会（新理財部次長及び第一課長就任
挨拶）
- 8月12日（火）、10月1日（水）
推薦委員会
- 9月11日（木）
埼玉友好士業協議会構成会としてさいたま市長表敬
訪問
- 9月17日（水）
埼玉友好士業協議会「第2回幹事会」出席
- 9月17日（水）、10月16日（木）、11月11日（火）、
12月15日（月）
埼玉会10周年記念事業PT企画小委員会
- 9月25日（木）
4会合同関東財務局との連絡会出席
- 9月26日（金）
埼玉県知事表敬訪問
- 10月14日（火）
埼玉県商工会議所連合会「第61回埼玉県商工会議所
議員大会懇親会」出席
- 10月20日（月）
関東信越国税不服審判所表敬訪問
- 10月30日（木）
所沢市長表敬訪問
- 11月5日（水）
東京会主催第11回慶寿会出席
- 11月7日（金）
中間監事監査及び講評会
- 11月17日（月）
関東財務局表敬訪問
- 11月20日（木）
第22回彩の国中小企業支援ネットワーク会議出席

専門委員会実施報告

2025年7月～12月

①公会計専門委員会

2025年7月23日（水）第1回会議

2025年10月18日（土）研修会（公会計協議会継続研修）

②学校法人専門委員会

2025年10月23日（木）第1回会議

2025年12月19日（金）埼玉県総務部学事課との意見交換会

③公益法人等専門委員会

2025年7月15日（火）第1回会議

2025年10月14日（火）第2回会議

2025年12月12日（金）研修会

2025年12月12日（金）第3回会議

④社会福祉法人専門委員会

2025年8月22日（金）第1回会議

2025年11月4日（火）行政（社会福祉課）との意見交換会

⑤NPO法人専門委員会

2025年8月18日（月）第1回会議

2025年10月31日（金）埼玉県共助社会づくり課連携研修会

⑥税務専門委員会

2025年7月26日（土）会計事務所経営勉強会

2025年8月27日（水）国税不服審判所連携研修会

2025年9月17日（水）国税局連携研修会（税制改正）

2025年9月29日（月）国税局連携研修会（綱紀監察）

⑦中小企業支援対応専門委員会

2025年7月26日（土）会計事務所経営勉強会（税務と共に）

2025年7月31日（木）第1回会議

2025年9月27日（土）研修会

2025年11月18日（火）第2回会議

⑧医療法人専門委員会

2025年9月8日（月）第1回会議

2025年11月12日（水）研修会

税務専門委員会

国税局による税制改正研修会
第1部（9/17実施）



左側：渡邊亨様
(関東信越国税局課税第一部審理課主査)

税務専門委員会

国税局による税制改正研修会
第2部（9/17実施）



右側：船山剛志様
(関東信越国税局法人課税課源泉税審査指導係)

税務専門委員会

国税局による綱紀監察研修会
(9/29実施)



右から2番目：吉田浩之様
(関東信越国税局総務部総務税理士事務専門官)

公会計専門委員会

包括外部監査從事者養成講座
(10/18実施)



講師（佐久間仁志会員、渡邊靖雄会員、柴田英樹会員）と参加者の皆さん

NPO法人専門委員会

埼玉県共助社会づくり課連携研修会（10/31実施）



左上から2番目：澤井春奈様
(埼玉県共助社会づくり課活動支援担当主事)

社会福祉法人専門委員会

行政（社会福祉課）との意見交換会（11/4実施）



意見交換会の様子
(参加：埼玉県、さいたま市、越谷市)

医療法人専門委員会主催研修会

医療法人制度の概要と医療法人監査（11/12実施）



右から3番目：中村一様
(非営利法人委員会医療法人専門委員会専門委員)



埼玉会行事

ウェルカムガイダンス

2025年10月24日（金）に埼玉会研修室において、2025年度ウェルカムガイダンスが行われました。ウェルカムガイダンスは、埼玉会に入会された会員を対象に埼玉会の会務について理解していただく機会を設けて、その上で更に親睦を図るために実施しています。なお、今回の対象者は2024年7月から2025年6月までの1年間に埼玉会に入会された会員です。当日の進行は、2部構成で行われ、まず始めに会長、副会長及び青年部長より会務説明が行われ、その後、参加された7名の新入会員より自己紹介をいただきました。

埼玉会研修室でのウェルカムガイダンスはあっという間に予定時間が来てしまい、その後は場所を移して懇親会の始まりです。新入会員の方々は今までのキャリアも様々であり、興味深い話を聞くことができ、こちらも大変勉強になりました。当日参加していただいた新入会員の方々には改めて御礼を申し上げます。これからも会務へのご参加お待ちしております。



（池田 博行）

埼玉会主催ゴルフ大会

10月2日（木）に太平洋クラブ江南コースにおきまして親睦ゴルフを開催しました。当該コースの予約に際し、メンバーである宮原相談役にご協力をいただきました。ありがとうございました。

当日は快晴に恵まれ、4組12名でラウンドしました。

新ペリア方式で開催しまして、栄えある優勝は小島洋太郎会員、準優勝は白井貴世子会員、第3位は小野寺大輝会員、ベストグロス賞は鎌田竜彦会員、ドラコン賞は余語直樹会員（東京会）と小野寺大輝会員、ニアピン賞は立野弘信会員と原田智浩会員でした。

当日の私は、スタートのホールで弱気になってドライバーを持たなかつたにもかかわらず、2回連続で空振りする等、実力どおりですが何とも大変な一日となり、特に同じ組の方に大変なご迷惑をお掛けすることとなりました。申し訳ございませんでした。不幸中の幸いはボールを2つなくしただけで済んだことでしょうか。

本年も親睦ゴルフの開催を予定しておりますので、皆様の積極的な参加をお待ち申し上げております。宜しくお願ひ申し上げます。

（中澤 仁之）



日本スリーデーマーチ

11月2日（日）、埼玉県東松山市を中心として自然豊かな比企丘陵を舞台に繰り広げられる国際ウォーキングの祭典「第48回 日本スリーデーマーチ」に今年も参加して参りました（参加者10名、うち子ども1名）。

例年と同様の10kmコース（実測13km）にエントリーし、好天のもとでさわやかな風を感じながら、全員がマイペースで楽しく笑顔の完歩を達成しました。

今年はアメリカ野球のワールドシリーズの最終戦とバッティングしたこともあり、野球中継を確認しながらのウォーキング、昼食休憩の森林公園でお弁当を食べながらスマートフォンで観戦と、ハラハラドキドキの展開から歓喜を迎える特別な日となりました。

終了後は川越駅前に移動し、昨年と同様のやきとり居酒屋にて、ウォーキングに参加の叶わなかった正副会長も加わって懇親会を開催し、楽しく一日を締めくくりました。

ここ数年の私は、家族でスリーデーマーチに参加しています。小学校2年生から参加している次女は4年生になって成長を感じますし、長女は高校受験のために今年は不参加でした。これまで不参加だった妻は、次女の面倒を見たいと今年は参加しましたが、娘の頑張りを見ながら家族で体を動かすのが楽しかったのか、今では別のウォーキングイベントへの参加を検討しています。わが家は日常的に家族で運動をするような家庭ではないものですから、このような機会を通じて家族の変化を確認できるのはとても楽しいものと感じます。

スリーデーマーチは、ウォーキングを通じて会員間の親睦を深めることが目的でありながらも、家族でも参加できる埼玉会の数少ないイベントのひとつです。ぜひ皆様も友人やご家族など大切な方と一緒に参加されてみてはいかがでしょうか。次回2026年の「第49回 日本スリーデーマーチ」にて、多くの皆様にお会いできることを楽しみにしております。（青山 裕之）



埼玉会写真同好会

埼玉会写真同好会は、年2回ほど研修室での定例会を開催しています。定例会では特にテーマを設けず、各自が自由に選んだ五枚程度のプリントアウトした写真やデータを持ち寄り作品の発表を行っています。

自身の気に入った作品を持ち寄るため、風景写真、動物写真、山岳写真や日常のスナップなどジャンルは多岐にわたっており、撮影時の工夫や思い出を語り合っています。またそのあとの懇親会で、さらに会員同士の交流が深まっています。

今年度は新たに二人の方が参加され、現在の会員数は15人となりました。毎年一回は野外撮影会の開催を企画し、一段と活発な活動を行っていきたいと思っています。

この会は、単に写真が好きな仲間が集まった同好会ですので、写真の技術面だけでなく、写真を通じて交流が深められることを第一に考えています。興味のある方は、事務局までご連絡いただけすると幸いです。 (西川 正純)



埼玉弁護士会との交流会

2025年10月29日（水）にkawara CAFÉ & DINING大宮店にて埼玉弁護士会との交流会を開催いたしました。

昨年からスタートしたこの交流会は、埼玉弁護士会所属の弁護士と公認会計士協会埼玉会所属の公認会計士が、地域に根差した幅広い活動のためにそれぞれの業務における連携や情報交換のための場を設ける目的で実施しております。昨年は若手限定という形でしたが、今年はより幅広い年齢層の方にご参加いただきました。

公認会計士協会埼玉会の工藤道弘会長による開会のあいさつと乾杯からはじまり、その後は、個々に積極的な交流がはじまりました。

半立食形式で移動をスムーズに行えることから、より多くの弁護士と公認会計士とが面識を持つことができ、特に司会進行等も不要な、賑やかで楽しい交流会となりました。

最後は埼玉弁護士会の宗像英明会長の締めのあいさつにより交流会は終了しました。埼玉弁護士会の皆様から今後も継続してぜひ開催しましょうとの声がありましたので、ご興味のある方は来年ぜひ参加してみてください。

(恩地 顯太)



暮らしと事業のよろず相談会

2025年11月1日（土）の10時30分から15時30分まで、浦和のコルソ7階ホールにて「暮らしと事業のよろず相談会」が開催されました。このよろず相談会とは、主に埼玉県の士業（弁護士、司法書士、土地家屋調査士、税理士、行政書士、社会保険労務士、不動産鑑定士、公証人、中小企業診断士、弁理士、公認会計士）の方々が、暮らしと事業に関する相談者の悩みや困りごとにお答えするイベントで、今回の主催（当番会）は埼玉司法書士会でした。日本公認会計士協会埼玉会からは、私を含め、業務担当副会長の大塚先生、常任幹事の恩地先生、幹事の深谷先生の4名で参加致しました。当日は朝から天気が良かったこともあり午前10時30分の開始前から、大勢の相談者にご来場いただき、全体の相談件数は例年並みの250件となりました。相談内容をみると事業者より個人の相談者が多い様子が伺え、弁護士会や税理士会の方が忙しそうに応対している光景が印象的でした。また、相談会後には懇親会も開催され、埼玉県の他の士業の方々と交流も深められたため大変意義深い相談会となりました。引き続き公認会計士の立場からこういった相談会等を通じて中小企業支援や地域貢献に寄与できればと強く思い直したイベントでした。 (柴田 英樹)

埼玉県知事表敬訪問

工藤会長、小笠原常任幹事、佐久間副会長、飯野副会長、大塚並びに菅野事務局長の6名は、9月26日（金）に大野元裕知事を表敬いたしました。県庁側からは、県監査事務局の小松原誠事務局長にご臨席を賜りました。

冒頭、工藤会長より、本年度より埼玉会が新執行部体制へ移行した旨を報告申し上げ、引き続き各役員から主要事業の概要をご説明いたしました。これに対し、大野知事からは、地域経済の振興における公認会計士の果たす役割や、女性活躍推進に向けた取組に対し関心とご期待が示され、今後の協働関係の一層の発展についても言及がございました。

限られた時間ではございましたが、極めて有意義な意見交換の機会となり、埼玉会と埼玉県との連携強化に資する訪問となりました。

（大塚 健一）



関東信越国税不服審判所所長表敬訪問

工藤会長、飯野副会長、大塚副会長及び常任幹事の森山と菅野事務局長とで10月20日に徳田郁生関東信越国税不服審判所所長を表敬訪問させて頂きました。例年と同様に東京会との合同形式でのご訪問とさせて頂いておりまして、東京会からは高橋会長、小黒副会長をはじめ6名の方々と一緒に訪問となりました。当日はまず東京会の皆様よりご持参された資料等に基づいて日本公認会計士協会としての租税施策の内容や、実施した研修会を含む税務業務に関する各種活動の状況、税務業務部会等の活動などについてご説明を頂き、埼玉会からは追加事項として埼玉会における税務業務に関連する事項と埼玉会独自の取り組みについてご説明をさせて頂きました。

限られた時間ではございましたが貴重なお話を伺いすることができましたことに加えて、例年の研修会へのご協力につきましてもあらためて御礼を申し上げることができ、大変有意義な訪問となりました。

（森山 謙一）



所沢市長表敬訪問

工藤会長、大塚副会長、長岡副会長、織田幹事及び佐久間（副会長）の5名と菅野事務局長で、10月30日11時30分に小野塚勝俊所沢市長に表敬訪問しました。

工藤会長は、持参したSAITAMA CPA NEWSを用いて、小野塚市長に、埼玉会の会員数と会務の状況を説明しました。次に大塚副会長が、埼玉会から所沢市への会員の推薦状況と埼玉県内の包括外部監査人の推薦状況を説明しました。所沢市は、現在、中核市への移行の準備が進行中という点で、小野塚市長は、包括外部監査について特に関心を持たれていました。

小野塚市長からは、最近のトピックスとして、大阪・関西万博に所沢市から狭山茶を運び会場に試飲コーナーを設けて狭山茶のPRをしたり、所沢市が、映画「となりのトトロ」の舞台のモデルであり、「航空発祥の地」でもあることを世界にPRしていくことについて熱く語っていただきました。

小野塚市長から市政に対する埼玉会の支援について感謝のお言葉を頂戴し、今後も所沢市と埼玉会とが良好な関係が継続されるように確認しあい、15分間の実りある表敬訪問は終了しました。

（佐久間 仁志）



関東財務局長挨拶訪問

工藤会長、佐久間副会長、大塚副会長、中澤副会長、新江及び菅野事務局長の6名で、11月17日（月）に後藤健二関東財務局長への挨拶訪問をしました。関東財務局側のご同席は、梅野理財部長、大塚理財部次長、藤田理財第一課長、臼井理財第二課長、森金融調整官でした。

工藤会長からは埼玉会の活動について説明申し上げ、その後意見交換が行われました。また、最近の動向として、監査範囲が拡大し、公認会計士のニーズが高まっていることや、金融機関との包括連携協定を踏まえて中小企業への支援を行っていくことなどを説明しました。

限られた時間でしたが、今回も貴重な意見交換と親睦が図られ、大変有意義な訪問となりました。

（新江 明）



アフター中小企業支援コンベンション研修会第2弾

9月27日に「アフター中小企業支援コンベンション研修会第2弾【埼玉の公認会計士が語る中小企業の事業再生の実務について】」を実施しました。

今回は、私を含め、実際に中小企業の再生や廃業支援に携わっている会員に講師をお願いし、パネルディスカッション形式で開催いたしました。

短い準備期間にもかかわらず、講師を快くお引き受けくださった植村先生、岸川先生、小林先生に心より感謝申し上げます。

また、会場参加7名、オンライン参加15名の会員の皆さんにご参加いただき、厚く御礼申し上げます。

限られた時間の中で全てをお伝えすることはできませんでしたが、実際の再生現場の空気を少しでも感じ取っていただけたのではないかと思っております。

埼玉会でも中小企業活性化協議会との連携が進んでおりますので、ご興味のある方はぜひ手を挙げていただき、中小企業の事業再生支援にチャレンジしていただければ幸いです。

研修会後には、ちょうどソニックシティの広場で開催されていたオクトーバーフェストで、おいしいビールやおつまみを堪能し、参加者同士で親睦を深める楽しいひとときとなりました。
(武田 祐太郎)



巡回研修会熊谷大会

2025年11月8日土曜日14:30～17:00、熊谷市のキングアンバサダーホテル熊谷にて、巡回研修会熊谷大会を開催いたしました。

講師には、日本税理士会連合会国際税務情報研究会特別委員、東京国際大学非常勤講師の江本尚浩税理士をお迎えして、「中小企業オーナーに関する資産税—自己株式の税務、事業承継税制、国外財産の問題など」のテーマで、ご講演いただきました。

工藤会長はじめ各位のお声掛けのご協力のもと、研修会懇親会ともに20名のご参加をいただきました。

広範なテーマをお願いしてしまったことから、江本先生には、資料作成から当日の進行においてもたいへんご苦労をお掛けしてしまいましたが、その分充実した内容となったと感じております。

懇親会は熊谷駅付近の安心院という飲食店で行い、江本先生にも最後までお付き合いいただき、老若男女和気あいあいと懇親を深めることができました。
(飯野 浩一)



年末研修会及び忘年懇親会

2025年12月6日土曜日年末研修会①として、13:00～15:00、埼玉会研修室にて、講師に藻谷浩介先生（地域エコノミスト、(株)日本総合研究所主席研究員）をお迎えして、「埼玉県の社会経済情勢～現在から未来へ～」のテーマで、ご講演いただきました。リモートを含み49名にご参加いただきました。ファクトにもとづく世の中を見る視点について、クイズ形式を交えながら伝えていただきました。クライアントのビジネス環境を理解するための視野が広がったように思いました。



年末研修会②として、15:30～17:00、同場所にて、日本公認会計士協会本部から南成人会長、藤本貴子副会長がお越しになり、南会長から経営方針説明会が行われました。リモートを含み48名にご参加いただきました。新執行部の紹介、「信頼を創り、次世代が輝く社会へ」のテーマのもと5つの目標と17の重点施策を説明されました。次世代の人づくりと対話を重視した運営を心掛けるとおっしゃっていました。



その後、17:30～19:30、木曽路大宮店にて、南会長、藤本副会長にもご参加いただき合計43名で忘年懇親会を行いました。若手の参加も多く、南会長はすべての席に廻ってくださって、それぞれ和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。
(飯野 浩一)

埼玉大学公認会計士制度説明会

2025年7月16日、埼玉大学経済学部・澤井准教授御担当の「企業会計総論」の講義時間をお借りし、公認会計士制度説明会を実施いたしました。説明会は、同大学・大学院OBの中井真人会員の司会で始まり、長岡副会長による開会の挨拶の後、馬場康徳会員より公認会計士制度の概要について、公認会計士の使命やプロフェッショナルとしての活躍フィールド、試験制度の概要について説明していただきました。次に同大学OBの黒川晃会員・元田康博会員の合格体験談に移りました。実際の試験勉強の状況や失敗談、不合格後の再挑戦などリアルな話をしていただき、聞いている後輩にエールが伝わったようです。最後に森山も加わりディスカッションを行いました。AI監査の導入や監査報酬との兼ね合いなど最新の監査実務に係るテーマや、税務業務の面白みについて質問が寄せられ、それぞれの立場から多角的な回答を行うことで非常に有意義な時間となりました。最後に、澤井准教授をはじめ、開催にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

(森山 武芳)



ケーキの値段を決めるには？～「ハロー！会計 サマースクール」開催報告～

2025年7月19日（土）、「ハロー！会計 サマースクール」を開催し、小学4年生～6年生を対象に「ケーキの値段を決めるには？」と題したプログラムを実施しました。

今年は参加者29名がケーキ屋さんとなり、ケーキの原価計算から、アピールポイント、販売価格の決定まで、実際のビジネスの流れを体験。昨年同様、2コマ開催で、より多くの小学生に会計の面白さに触れてもらう機会を提供できました。

工藤道弘会長の挨拶で始まり、講師は高畠明久会員と安保真人が担当。11名の公認会計士がコーチとなり各参加者に寄り添い、子どもたちの活発な議論をサポートしました。参加者は、原価だけでなく販売費といった見えないコストも考慮し、それぞれのケーキ屋さんごとに営業利益を計算。

アンケートでは、「ケーキの値段って色々考えて決まってるんだ！」「会計って面白い！」といった声が多数。今回の体験を通じて、子どもたちが会計の仕組みを身近に感じ、公認会計士の仕事に興味を持つきっかけになれば幸いです。

ご協力いただいた講師、コーチ、運営に尽力された皆様に心より感謝申し上げます。

(安保 真人)



訪問型ハロー！会計@埼玉大学教育学部附属小学校

2025年9月8日（月）に埼玉大学教育学部附属小学校にて訪問型「ハロー！会計」の授業を実施いたしました。前回は2019年12月で約6年ぶりの開催です。6年生1組～3組までの各クラスで授業形式にて行い、司会は長岡広報担当副会長、工藤会長よりご挨拶をいただきました。講師は、安保先生、大川先生、織田が、補助講師は柴田先生、馬場先生、森山先生が担当しました。授業では、「牛丼屋さんとステーキ屋さん」というテーマのもと、「会計の基本」「どちらの経営がより儲かるか」「経営する際に考慮すべきこと」などについて、児童たちに考えてもらいました。利益計算や借入、設備投資の計算などを通して、自分が経営者だったらどちらを選ぶかを真剣に考え、多くの児童が沢山発表してくれました。アンケートでも、「楽しかった」「これまで会計に興味がなかったが、授業を通して興味がわいた」「もし大人になってお店を経営する機会があれば今回学んだことを参考にしたい」など前向きな声が多く、「会計」や「経営」について興味をもつ良い機会となりました。本授業の実施にあたりご協力をいただいた皆様に心より御礼申し上げます。

（織田 智美）



獨協大学寄附講座

2025年10月10日（金）、23日（木）の二日間、獨協大学経済学部の松原沙織教授が御担当する会計学原理と会計学にて、昨年に引き続き寄附講座を実施させて頂きました。10月10日（金）は、「社会福祉法人の役割と会計」というテーマで大塚健一先生にご講義を頂きました。企業会計を学ばれている生徒さんが多い中、普段かかわることが少ないとと思われる社会福祉法人の役割や具体的な会計処理まで踏み込んでご講義を頂き、生徒の皆様が非常に興味深く聞き入っている様子が見られました。10月23日（木）は、「IPOと不正—オルツ社の不正を中心にして」というテーマで高畠が講義をさせて頂きました。現在のIPOや監査を取り巻く環境、24年10月上場→25年8月上場廃止となったオルツ社を取り上げ、IPO不正に関するお話をさせて頂きました。授業後には質疑応答の時間を設け、公認会計士を目指している生徒さんから監査法人での働き方や業務の進め方など非常に具体的な質問を頂き、真剣に講義を受けてくださったことを感じました。来年度も是非、寄附講座開催の機会を頂戴できればと考えております。

（高畠 明久）



履修結果を申告しましょう

－CPD義務達成に向けて－

申告もれはありませんか？

2025年4月1日から履修したもので、申告がお済みでないものはありませんか？

必要な単位数に到達していますか？

次のいずれをも満たす単位数以上を履修し申告する必要があります。

- 1.当該事業年度を含む直前3事業年度合計 120単位
- 2.当該事業年度最低 20単位
- 3.当該事業年度の必須単位数

必須単位数は履修・申告しましたか？

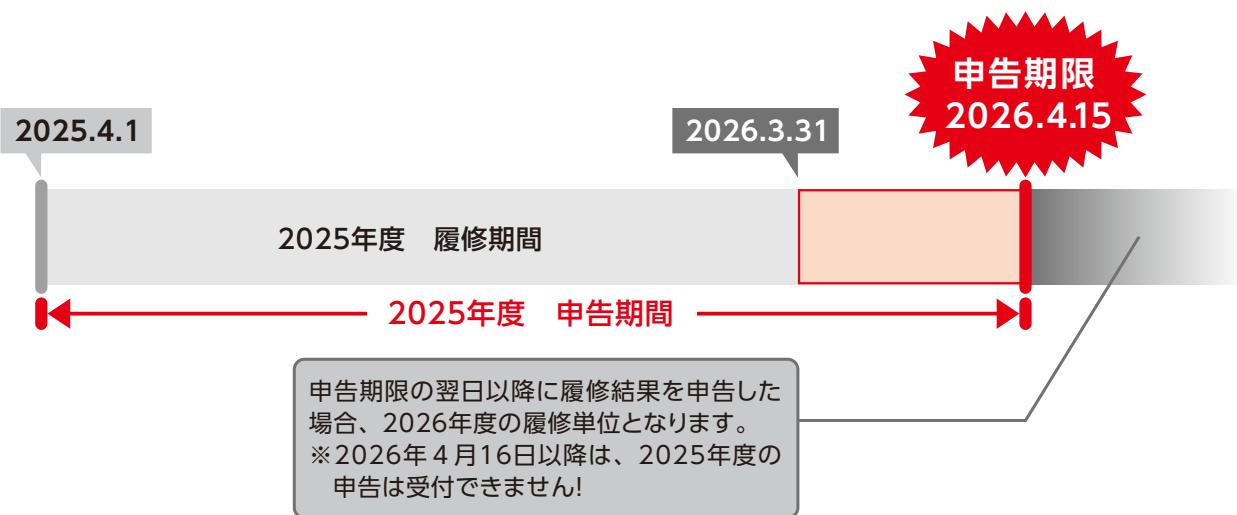
必要な単位数として、次の必須単位数を履修し申告しなければなりません。

- ・全会員(免除の承認を受けた会員を除く) 「職業倫理」 2単位
「税務」 2単位

加えて

- ・法定監査業務に従事する会員 「監査の品質及び不正リスク対応」 6単位
(うち2単位以上は不正事例に該当する研修とする。)

2025年4月1日から2026年3月31日までの履修結果のうち、
申告がお済みでないものについては、2026年4月15日までに申告してください。



！ご注意ください

※eラーニング、教材での受講については、2026年3月31日までに受講が完了したものが履修結果として反映されます。2026年4月1日以降受講したものについては2026年度の履修結果に反映されますのでご注意ください。

埼玉会10周年記念

イベント開催のお知らせ

日本公認会計士協会埼玉会は、2026年4月をもちまして、地域会として独立し、10周年を迎えます。それを記念して、埼玉会10周年記念イベントを開催いたします。

2026年10月16日（金）午後から夜までの開催

記念式典、講演会等（予定）・・・於：ソニックスティホール棟4階「国際会議室」
懇親会・・・・・・・・・・・・・・於：パレスホテル大宮3階「チェリールーム」（着席形式）

詳細は、決まり次第ご案内いたします。

■ ■ ■ ■ 会員・準会員の皆様のご参加をお待ちしております。 ■ ■ ■ ■



◆会員慶弔見舞

(掲載許可をいただいた方のみ記載しています。)

ご結婚おめでとうございます

濱田 和輝 様 (会員)

謹んでご冥福をお祈りいたします

清水 正 様 2025年5月5日ご逝去 82歳 (会員)

矢野 公明 様 2025年8月12日ご逝去 73歳 (矢野裕紀会員 御尊父様)

遠藤 宏子 様 2025年10月3日ご逝去 83歳 (遠藤忠宏会員 御令室)

◆会員数 (2025年11月30日現在)

| 種 別 | 会 員 | | | | 準 会 員 | | | | | 合 計 | |
|-----|--------|---------|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 公認会計士 | 外国公認会計士 | 監査法人 | 計 | 一号準会員 | 二号準会員 | 三号準会員 | 四号準会員 | 五号準会員 | | |
| 埼 玉 | 936 | 0 | 0 | 936 | 3 | 29 | 0 | 109 | - | 1,077 | |
| 全 国 | 37,715 | 1 | 299 | 38,015 | 67 | 456 | 0 | 6,241 | 180 | 6,944 | 44,959 |

(注) 1. 一号準会員は、公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者

2. 二号準会員は、会計士補

3. 三号準会員は、会計士補となる資格を有する者

4. 四号準会員は、公認会計士試験に合格した者 (一号準会員に該当する者を除く。)

5. 五号準会員は、特定社員 (地域会には所属しない。)

◆編集後記

『SAITAMA CPA NEWS』21号をご覧いただき、誠にありがとうございます。

本号は新執行部となって最初のSAITAMA CPA NEWS発行となり、特別委員会にとっても新体制となってはじめて編集を担当させて頂くこととなりました。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけしたこともあるうかと思いますが、多くの会員の皆様に原稿のご執筆をはじめ多大なるご尽力を頂きましたおかげで、なんとか発行することができました。あらためて心より感謝申し上げます。

今後も活動内容の紹介やイベントなどの開催報告を通して、会員の方に埼玉会を身近に感じて頂けるような誌面作りを心掛けてまいります。

引き続きご愛読頂けますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(SAITAMA CPA NEWS 特別委員会)

埼玉会ホームページ <https://saitama.jicpa.or.jp>

会員専用ページへアクセスするためのID・パスワードは協会本部ウェブサイト会員マイページへアクセスするためのID・パスワードと共に通です。

日本公認会計士協会埼玉会

〒330-8669

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階

TEL : 048-644-9050 FAX : 048-644-9054

E-mail : saitama@sec.jicpa.or.jp

URL : <https://saitama.jicpa.or.jp>

● ● 信頼の力を未来へ

jicpa

◆ 日本公認会計士協会 埼玉会

SAITAMA CPA NEWS Vol.21 2026.1

発行人:埼玉会会長 工藤道弘

編集人:副会長(広報委員会) 長岡千晶

常任幹事(広報委員会) 森山謙一

幹事(広報委員会) 高畠明久

幹事(広報委員会) 中井真人

幹事(広報委員会) 和田正夫

構成:SAITAMA CPA NEWS特別委員会

安保真人/大川千仁

酒井健一/柴田英樹

鈴木雅也/高城敦史

印刷所:株式会社正文社

表紙写真:酒井健一 会員